

令和3年11月 造血細胞移植委員会活動報告

委員：日野もえ子（委員長、千葉大学）、井口晶裕（北海道大学）、平山雅浩（三重大学）、加藤格（京都大学）、安井昌博（八幡病院）、成田敦（名古屋大学）、山本将平（東海大学）、福島啓太郎（獨協医科大学） オブザーバー：佐藤篤（宮城県立こども）、橋井佳子（大阪国際）、矢部晋正（東海大学）

①LTFU リーフレット小児科版完成について

造血幹細胞移植医療体制整備事業の一環として、国立がん研究センター研究開発費福田班の黒澤先生、神奈川こどもの柳町先生と加藤、平山を中心として小児版 LTFU リーフレットを完成させた。今後 JSTCT の HP に掲載していく。

https://www.jshct.com/modules/facility/index.php?content_id=37

② 血液患者の移行期医療サポートツール作成の開始

福田班により造血幹細胞移植後の小児成人移行をサポートするツール（サマリーやチェックシート）の作成が開始された。委員会から日野、加藤、平山が参加していく予定である。

③造血細胞移植後長期フォローアップ WG への参加

小児の移植に関連した前方視的臨床試験、後方視的研究に対応できるように TRUMP データベース内に小児移植に特化した長期 FU データ項目を設定することを目的として JSPHO 移植委員会、JCCG 移植委員会、小児内分泌学会 CCS 委員会、日本造血・免疫細胞療法学会 遺伝性疾患 WG 合同の WG が開催され、議論に参加している。

④「本邦小児における同種造血幹細胞移植後予防接種の現状と生ワクチン接種効果への関連因子の調査研究」について

現在で施設調査票 56 施設、症例調査票 122 症例が集まり、施設調査の結果を先行して来年の J S P H O で発表予定である。症例調査は、大規模施設が集まったところで終了する予定である。

⑤造血細胞採取ガイドラインの作成、末梢血幹細胞採取のドナーパンフレット作成について

安井と井口を中心としてドラフトを作成し文言の修正を行っている段階。橋井先生の調査を踏まえて抗菌薬の使用など最終調整を行い公開する。

⑥小児ドナーの安全性調査に関する疫学観察研究について

小児ドナーからの採取が安全であるということを客観的に証明する貴重な報告となる。今後 JSPHO 学会HPに公開する予定である。

⑦日野は造血細胞移植登録一元管理委員会に小児血液癌学会造血細胞移植委員長として出席し多数の研究審査に関わった。

以上